

# 教育研究創発国際研修における学術活動報告書

令和 4年 8月 15日

氏名 有井 優太

所属 教職開発 コース

指導教員名 浅井 幸子 (教授)

1. 研究課題 校内授業研究を核とした学校改善プロセスにおける研究部の機能に関する研究

2. 報告する学術活動の実施期間 令和 4年 8月 4日 ~ 令和 4年 8月 5日

3. 日本学術振興会特別研究員 (DC) の現在の採用状況 DC1 DC2 採用無し

## 4. 学術活動

国外 国内

①英語論文公表

②研究科教員の研究プロジェクト参加

③フィールドワーク

④国際会議 (研究発表 運営補助 出席のみ)

⑤研究会 (研究発表 運営補助 出席のみ)

⑥研究指導委託

⑦留学

⑧国際研修

⑨国際インターンシップ

⑩その他 (具体的に: )

## 5. 学術活動実施の概要

※上記4で選択した学術活動について具体的に記載してください。括弧内の概要を必ず記載してください。

- ① 英語論文公表  
(著者、発表論文名、掲載誌名等、発表年月巻号、発表年月日等、論文内容の概要)
- ② 研究科教員の研究プロジェクト参加  
(プロジェクト名、代表研究者名、自身の具体的な活動、活動期間(年月日)及び活動頻度、プロジェクトの概要)
- ③ フィールドワーク  
(調査先機関等、国名・都市名、具体的な活動、活動期間(年月日)及び活動頻度、調査先の概要)
- ④ 国際会議  
(研究発表・運営補助・出席のみ の別、学会・会議名、国名・都市名、発表題目名、発表形式(口頭・ポスター等)、発表年月日、発表内容等の概要)
- ⑤ 研究会  
(研究発表・運営補助・出席のみ の別、研究会名、国名・都市名、発表題目名、発表形式(口頭・ポスター等)、発表年月日、発表内容等の概要)
- ⑥ 研究指導委託  
(派遣先機関、国名・都市名、受入身分及び研究、研究テーマと受入教員、受入期間(年月日)、具体的な研究活動、研究発表内容等の概要)
- ⑦ 留学  
(派遣先機関、国名・都市名、受入身分及び研究科、受入期間(年月日)、具体的な履修状況、研究発表内容等の概要)
- ⑧ 国際研修  
(プログラム名、派遣先機関、国・都市名、派遣期間(年月日)、プログラム概要、研究発表内容等の概要)
- ⑨ 国際インターンシップ  
(プログラム名、派遣先機関、配属部署、国・都市名、派遣期間(年月日)、具体的な活動、プログラム内容等の概要)
- ⑩ その他(具体的な活動、活動期間(年月日)及び活動頻度等の概要)

学術活動区分 (①～⑩を記入)	①
<p>2022年1月2日にWorld Association of Lesson Studies(WALS)の刊行するジャーナル International Journal for Lesson and Learning Studiesに「Perceptions of leadership teams regarding organizational knowledge creation through lessonstudy: Perspectives from P. Gronn's Hybrid leadership」のタイトルで論文を投稿し、査読を経て2022年6月27日に採択され、8月10日に公表された。本学会は申請者の研究分野である授業研究に関する国際学会である。国際ジャーナルへの投稿にあたり本論文は、論文の英文校正を専門に行っている業者である editage において英文校正を受けたうえで投稿した。本論文は、これまで校内授業研究において焦点の当てられてこなかった、研究推進組織のリーダーシップを対象としたものである。長年にわたり校内授業研究に取り組んでいる日本の公立小学校の研究推進組織に所属する教師に対するインタビュー調査を実施し、そこで得られたデータをP.Gronnの提唱しているハイブリットリーダーシップの概念参考に分析した。その結果、校内授業研究において知識創造を主導している研究推進組織のリーダーシップの様相を描き出すことができた。本研究の知見は、世界的に課題となっている校内授業研究の持続性に対して寄与しうるものである。</p>	

- (注) ① 年月日は西暦で記入してください。  
 ② 英語論文発表については報告する学術活動において発表又は受理されたもの。  
 ③ 上記に記載しきれない場合は、ページを追加しても差し支えありません。  
 ④ 複数回の学術研究活動による報告の場合、適宜本ページを追加し、2つ目以降についても必要な内容を網羅してください。

## 6. 学術活動による成果

※報告する学術活動について、教育分野における国際的リーダー人材の育成とその研究成果を海外に発信することを目的とした教育研究開発国際研修の趣旨に照らし、その成果を具体的に記載してください。学術活動により得られた自身の研究課題につながる成果についてもわかるように記載してください。

※本欄に書ききれない場合、ページを追加しても差し支えありません。

本学会は申請者の研究分野である授業研究に関する国際学会であり、世界各国の実践者・研究者が議論する場となっている。申請者の投稿した論文タイトルは「Perceptions of leadership teams regarding organizational knowledge creation through lesson study: Perspectives from P. Gronn's Hybrid leadership」である。日本を発祥とする校内授業研究は、2000年ごろからLesson Studyとして世界各地で実践されるようになってきているが、持続的な校内授業研究を展開させていくにはどのようにすればよいのかといった“持続性”が世界的な課題となっていると指摘されている。申請者は、日本の校内授業研究が長い歴史の中で教師の学習に有効なシステムとして機能し続けてきた要因の1つとして研究推進組織のリーダーシップに着目している。研究推進組織が校内授業研究における知識創造を促進しているという側面にアプローチしている研究はこれまでの海外の研究では管見の限り行われていない。本研究では、そのように年間を通して校内授業研究に取り組む学校を対象とし、その中で実践の推進を行う研究推進組織が教師集団の主体的な参加のためにどのようなリーダーシップを発揮しているのかを検討する。このような日本の独自の視点を国際学会の学術雑誌に投稿することは、海外の研究者や実践者に対して示唆的な視点を示すことができると同時に、海外の研究者や実践者と議論を行うことで日本の校内授業研究の独自性が顕著になることへとつながると考えられる。

今回の投稿した論文は、校内授業研究での学習プロセスを組織的知識創造（SECI）として捉え、どの知識創造の場で研究推進組織はどのようなリーダーシップを発揮していると認識しているのかを検討したものである。校内授業研究における研究推進組織のリーダーシップ実践の様相を描く本研究は博士論文の一部として位置づくものである。